

ポジティブ生徒指導入門

望ましい行動に目を向けよう

担当者	宇田 光 (南山大学教職センター 教授)
概要	<p>日本の学校で先生方は、切磋琢磨する学級集団をつくろうと努めてきました。そして、好ましい学級雰囲気は、高い学力にも結びついています。こうした学校の強みの反面、不登校やいじめなどの問題もなかなか解消できません。外国の学校での実践から学ぶことは、ないでしょうか。</p> <p>米国の学校では、生徒指導の枠組みとして、カウンセリングやTET (教師学)、ゼロトレランスなどが用いられてきました。でも、その限界や問題点が指摘される中、最近になってPBISという問題行動の予防を重視した試みが行われていきます。ポジティブな行動支援、あるいはPBSとも呼ばれます。それは急速に大きな流れを形成し、PBIS実践校は2万校におよんでいます。</p> <p>PBISにおいては、生徒が取るべき望ましい行動を、3つの段階でポジティブに指導します。実際PBISを導入することで、行動面、学力面ともに、好ましい成果が報告されています。</p> <p>日本の先生方は非常にお忙しいので、この講座は参加しやすいように半日で設定しました。ポジティブ生徒指導の概略をご紹介します、またPBIS第一段階での取り組みを中心に体験して頂きます。学校の先生方を主な受講者として想定していますが、教育に関心のある方であればどなたでも歓迎いたします。</p>
日程	2022年8月6日(土)9:00~12:00
定員	30名
会場	オンライン
受講料	3,800円 (税込)
メルマガ講座報告	<p style="text-align: right;">担当講師 宇田 光 記</p> <p>本講座は昨年開始して2度目で、再びオンラインでの開催でした。昨年よりも参加者は少なく、しかも全員が教員で、2年続けての参加者も複数おられました。「教員以外の方でも参加できます」とうたっていますが(タイトルが何しろ「生徒指導」ですから)、一般の方には参加へのハードルが高いのでしょうか。前回は、Zoomのブレイクアウト・ルームに分かれて演習をおこなって頂きましたが、今回は少人数でしたので、一斉授業風にやりました。</p> <p>途中、画面共有のスライドが固まったことがありました。こちらのPCではちゃんと見えているのですが、オンライン上ではスライドが次に進んでおらず、事務局から指摘で判明しました。ばたばたしてしまい、申し訳なかったです。オンラインでの講座では、こうしたトラブルもつきものです。ただ今回も、東京でご参加の方が2名おられました。半日のために名古屋まで出てこなくて済むのは、やはり便利だと思います。今後は、ハイブリッド方式の導入も検討して良いのかもしれない。</p> <p>受講者のみなさま、熱心に参加して頂きありがとうございました。本講座は何度でもご参加頂けますので、どうぞ今後もよろしくお願ひします。</p>